

# 2018年4月期 決算説明会資料

2018年6月12日

**インスペック株式会社**



(証券コード:6656)

・ 会社概要 .....	2
・ 業績ハイライト .....	3
・ 業績見通し .....	10
・ 今後の経営戦略（インスペックの成長戦略） .....	11
・ 半導体パッケージ基板・ 精密基板検査装置関連事業 .....	12
・ 精密基板製造装置関連事業 .....	18
・ デジタルパソロジー関連機器事業 .....	21
・ 中期経営計画の修正 .....	24

# インスペックの概要 (2018年4月30日現在)

**inspec Inc.**

商号	インスペック株式会社
本社	秋田県仙北市角館町雲然荒屋敷79-1
創業	1984年(昭和59年)1月
上場	2006年6月(東証マザーズ 証券コード:6656) 2017年9月(東証二部へ市場変更)
代表者	代表取締役社長 菅原 雅史
主な事業	電子回路基板(半導体パッケージ基板・FPC等)の外観検査装置及び製造装置の開発・製造・販売・サービス 医療関連機器の開発・製造・販売
連結子会社	2社(First EIE SA、パスイメージング(株))
従業員	連結:77名 個別:49名
資本金	822百万円
発行済株式数	3,294,100株 (単元株数:100株)
株主数	2,250名

## インスペック 秋田県仙北市角館町



非連結子会社  
Inspec TAIWAN  
台湾桃園県

東京オフィス  
東京都港区浜松町

### 連結子会社

**First EIE SA**  
スイス・ニヨン

当社持株比率:89%

プリント基板用フォトプロッター  
インクジェット プリンター  
ダイレクトイメージング装置の  
開発・製造・販売・保守サービス



### 連結子会社

**パスイメージング株式会社**  
青森県弘前市

当社持株比率:26.1%

医療用画像処理システム  
「ホールスライドイメージング  
(WSI)」の開発・製造・販売・  
保守サービス



- **連結:**子会社株式取得に伴う、のれん償却費の追加計上及びのれんの減損損失により利益を圧迫。
- **個別:**計画未達であるものの、大型受注を獲得。翌期に売上計上予定。

## ■連結業績概要

(単位:百万円)

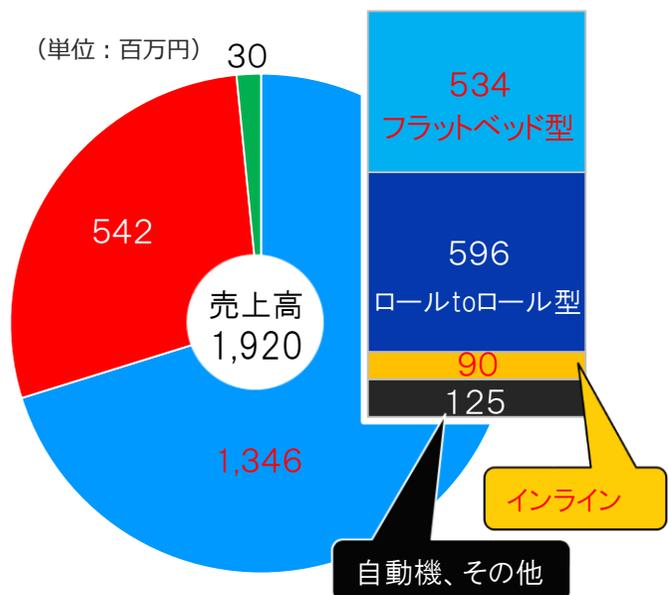
	2017年4月期	2018年4月期	前期比	増減率
売上高	2,159	1,920	△239	△11.1
営業利益	136	△256	△392	—
経常利益	134	△275	△409	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	106	△463	△569	—

## ■個別業績概要

(単位:百万円)

	2017年4月期	2018年4月期	前期比	増減率
売上高	1,507	1,346	△161	△10.7
営業利益	174	△19	△193	—
経常利益	171	△21	△192	—
当期純利益	146	△543	△689	—

	2017年4月期 累計			増減率	2018年4月期 累計			増減率
	金額 (百万円)	構成比 (個別)	構成比 (連結)		金額 (百万円)	構成比 (個別)	構成比 (連結)	
■ 半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	1,507	100.0%	69.8%	41.1%	1,346	100.0%	70.1%	△10.7%
■ フラットベッド型検査装置	741	49.2%	34.3%	31.9%	534	39.7%	27.8%	△27.9%
■ ロールtoロール型検査装置	369	24.5%	17.1%	127.5%	596	44.3%	31.1%	61.5%
■ インライン検査装置	65	4.3%	3.0%	△17.0%	90	6.7%	4.7%	38.5%
■ 自動機、その他	332	22.1%	15.4%	24.7%	125	9.3%	6.5%	△62.3%
■ 精密基板製造装置関連事業	606	-	28.1%	13.5%	542	-	28.3%	△10.4%
■ デジタルパソロジー関連機器事業	45	-	2.1%	80.0%	30	-	1.6%	△33.3%
連結売上高	2,159	-	100.0%	32.6%	1,920	-	100.0%	△11.1%



### 【半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連】

中期成長のための体制を強化する年度との位置付けのもと工場の改修、人員増強等の先行投資を実施。新規案件の受注が想定よりも遅れたこともあり減収。  
4月には2017年1月より注力してきたFPC用ロールtoロール型検査装置の大型受注に成功。(売上計上は2019年4月期の予定)

### 【精密基板製造装置関連機器】

工場移転による営業活動が停滞により減収。  
大型フォトプロッター等の新製品が製造可能となるなど足場固めの期となった。

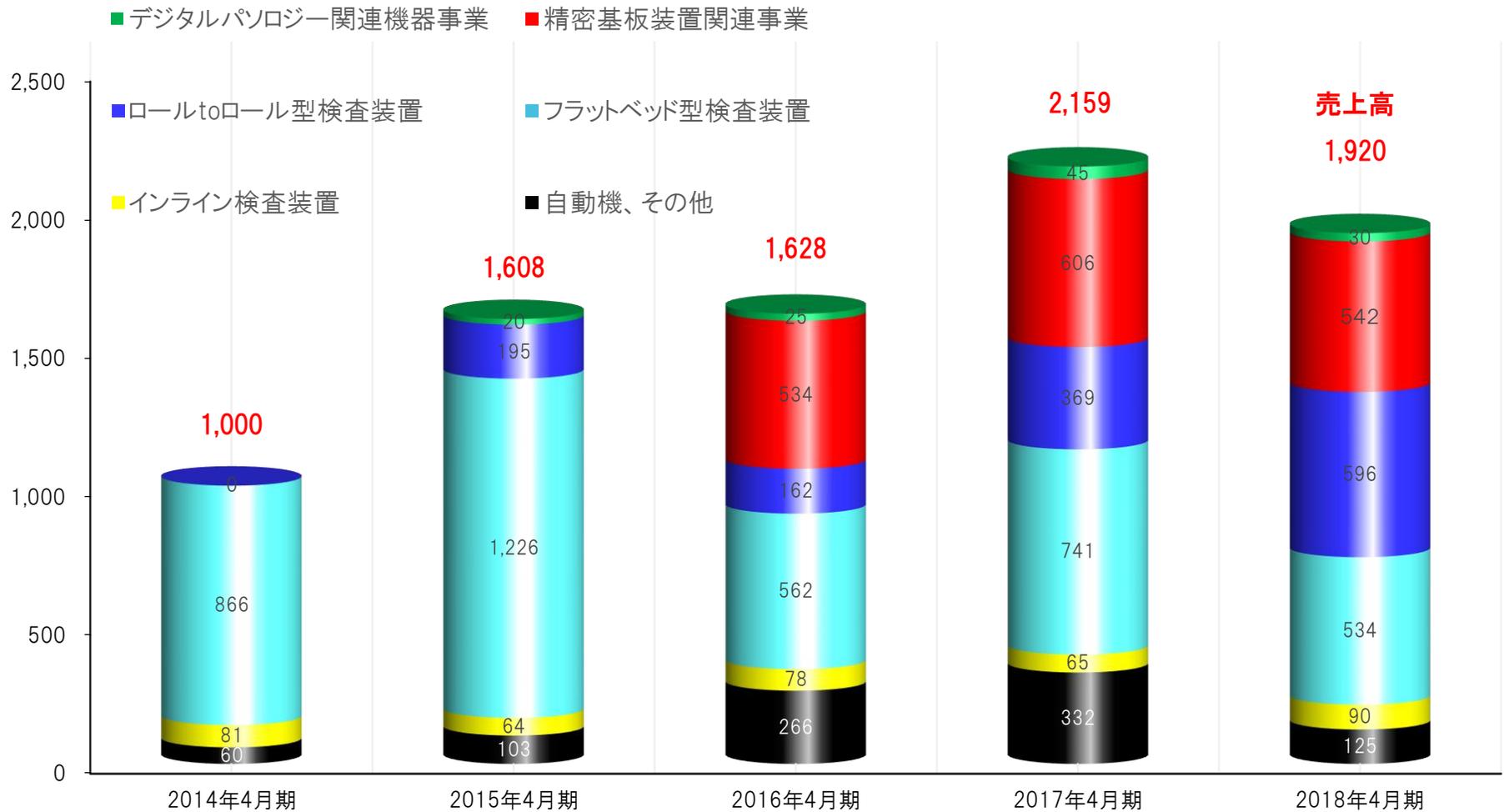
### 【デジタルパソロジー機器関連機器】

小型・高性能WSI新製品「UH-5S」「UH-50L」発売開始。  
営業体制の強化ならびに高度医療関連機器開発体制の構築に注力。

# セグメント別売上高推移

inspec Inc.

(単位：百万円)



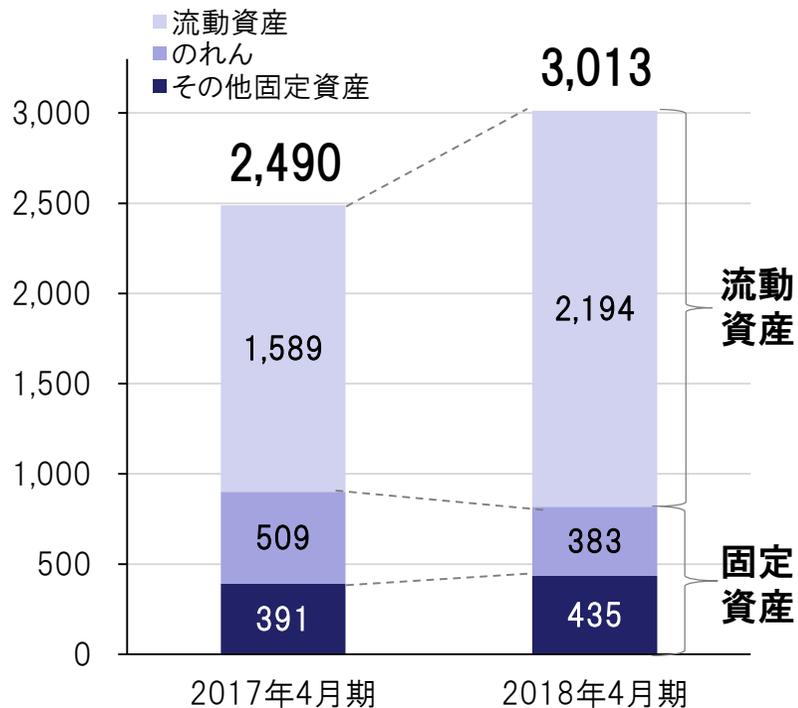
# 個別月次受注状況の推移(毎月開示)

(単位:百万円)



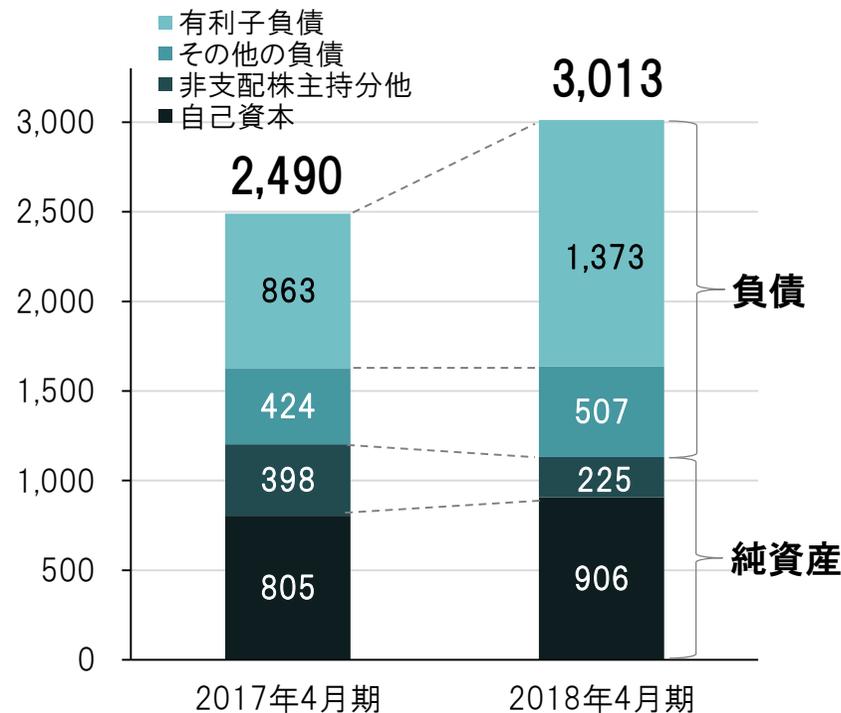
## 資産の部

(単位:百万円)



## 負債の部、純資産の部

(単位:百万円)



	2017年4月期	2018年4月期
自己資本	805百万円	906百万円
自己資本比率	32.3%	30.1%

	2017年4月期 金額(百万円)	2018年4月期 金額(百万円)
期首現金及び 現金同等物残高	340	775
営業活動による キャッシュ・フロー	346	△437
投資活動による キャッシュ・フロー	△141	△127
フリー キャッシュ・フロー	205	△564
財務活動による キャッシュ・フロー	232	680
現金及び現金同等 に係る換算差額	△3	△7
現金及び現金同等物 の増減額 (減少△)	434	107
期末現金及び 現金同等物残高	775	883

## ◆営業活動によるキャッシュ・フロー

- 営業活動の結果、  
437百万円の資金を使用

## ◆投資活動によるキャッシュ・フロー

- 本社土地取得により  
21百万円の資金を使用

## ◆財務活動によるキャッシュ・フロー

- 新株の発行により544百万円を資金調達
- 子会社株式追加取得により376百万円を使用
- 社債の発行により500百万円を資金調達

➤ **現金及び現金同等物**  
**107百万円の増加**

	2017年4月期		2018年4月期		対前年 増減率
	金額 (百万円)	対売上比	金額 (百万円)	対売上比	
研究開発費（連結）	101	4.7%	130	6.8%	28.7%
半導体パッケージ基板・ 精密基板検査装置関連事業	92	6.1%	104	7.7%	13.0%
精密基板製造装置関連事業	3	0.5%	10	2.0%	233.3%
デジタルパソロジー関連機器事業	6	13.0%	14	47.9%	133.3%

## ◆半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業

ロールtoロール AOI用エンジン、光学系の改善、欠陥分類ソフト等の開発 : 販売促進に貢献

## ◆精密基板製造装置関連事業

大型プロッターの開発 : 大画面タッチパネル分野に進出

## ◆デジタルパソロジー関連機器事業

①UH-50Lの開発、②戦略製品の新規開発:開発及び事業を加速させるため、WHIZ-Pから5億円調達

## 『飛躍の期』 過去最大の受注残を持ってスタート

- インスペック : FPC向けロール to ロール・インライン・超ファインパターン  
大手数社より受注済み。今後はリピートのニーズが拡大。
- F-EIE : 大型露光装置の開発とニーズがマッチング。  
既存装置プラスアルファの売上と市場拡大に期待。
- パスイメージング : 厚生労働省による診療報酬改定に対応するべく、UHシリーズの  
医療機器認証取得に全力を挙げて取り組み中。

	2018年4月期		2019年4月期		対前年 増減率
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	
売上高	1,920	100.0%	2,700	100.0%	40.6%
半導体パッケージ基板・ 精密基板検査装置関連事業	1,346	70.1%	2,000	74.1%	48.6%
精密基板製造装置関連事業	543	28.3%	700	25.9%	29.0%
デジタルパソロジー関連機器事業	30	1.6%	—	—	—

(注)デジタルパソロジー関連機器事業は2019年4月期より、持分法適用会社に移行するため、売上高には含んでおりません。

## インスペックの成長戦略

- 中期戦略
  - FPC & COF 向けロールtoロール検査装置
  - インライン検査システム
  - 超精密基板向け検査装置
- 中長期戦略
  - AIを活用した新たな検査システム
  - 輸送機関連分野向け検査システム

# 半導体パッケージ基板・ 精密基板検査装置事業

インスペック株式会社



ロールtoロールAOI RA7100

# 主な製品と用途

inspec Inc.

## 検査装置

リードフレーム検査装置



TABテープ検査装置



基板AOI(※)



基板AVI(※)



RtoR AOI



FPC向けAVI



## 検査対象製品

リードフレーム



TABテープ



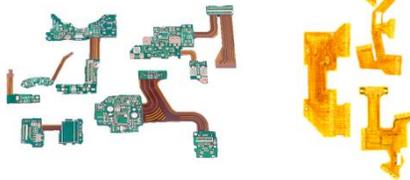
精密基板



CPU用超精密基板



FPC(フレキシブル基板)



## 用途例

自動車



テレビ



超高性能コンピュータ

サーバー



AI用スパコン



ウェアラブル・モバイル機器・IoT



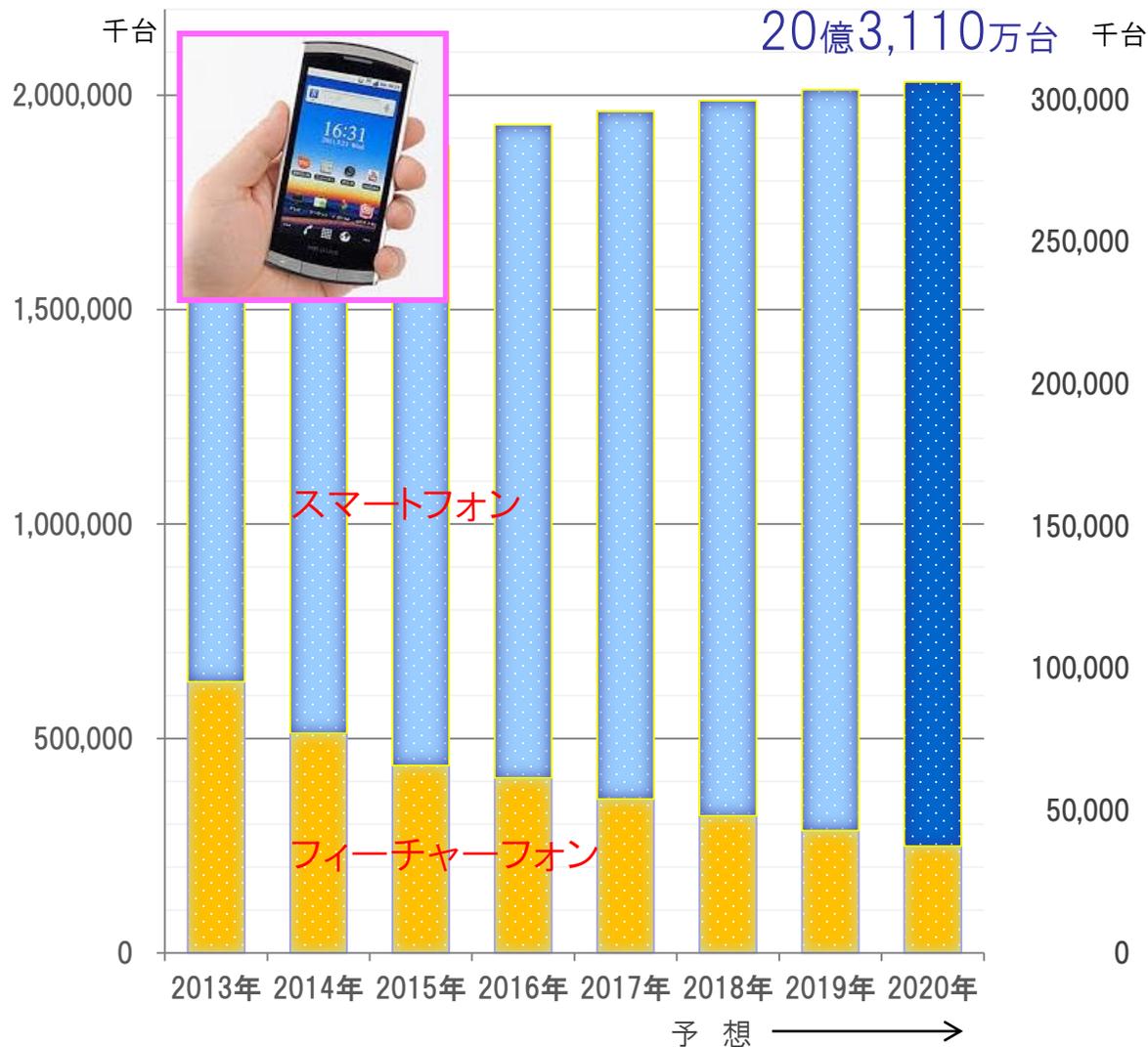
※ AOI:パターン検査装置 AVI:最終外観検査装置

# スマホ、ウェアラブルの増加が、FPC需要を後押し

inspec Inc.

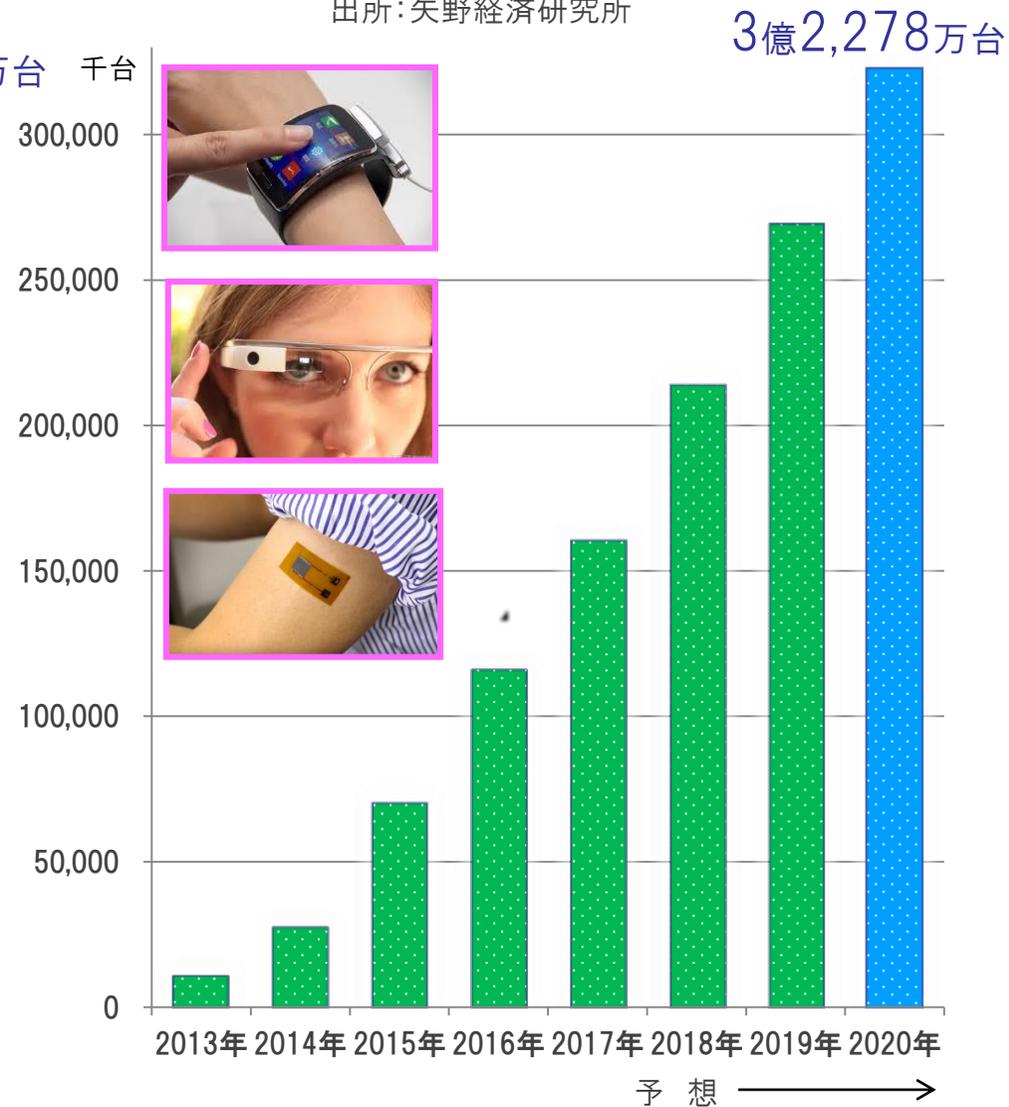
世界のハンドセット市場規模推移

出所: 矢野経済研究所



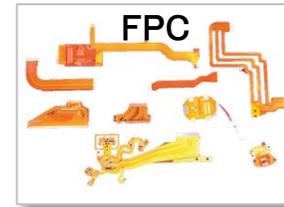
ウェアラブルデバイス世界市場の推移と予測

出所: 矢野経済研究所



## 1、ロールtoロール型検査装置(FPC分野、COF分野)

- ・モバイル機器、ウェアラブル機器など高成長
- ・**ロールtoロール高精度パターン検査**で差別化
- ・TABテープ時代からの圧倒的なノウハウの蓄積



ロールtoロール型検査装置

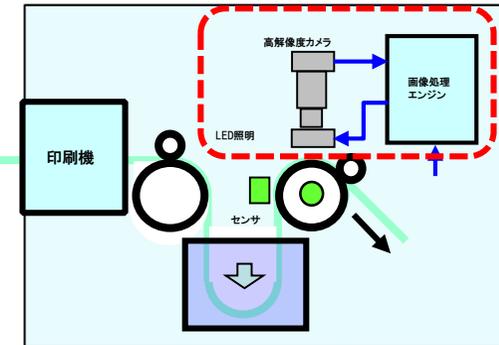


## 2、インライン検査装置

- ・IoTの**拡大**でマイクロデバイスが急増
- ・製品の高度化→インライン検査のニーズが拡大
- ・ロールtoロールの**連続検査技術**によりインライン検査が可能



インライン検査装置



## 3、精密基板検査装置(フラットベッド型)

- ・クラウドサーバーの拡大で高性能CPUが増加
- ・AIの進化でディープラーニング用デバイスが急拡大
- ・**最先端のファインパターン検査(AOI)**に唯一対応

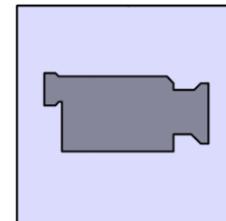


精密基板検査装置



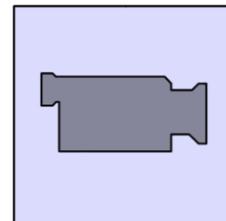
## 超精密AVI

CPU等半導体向け

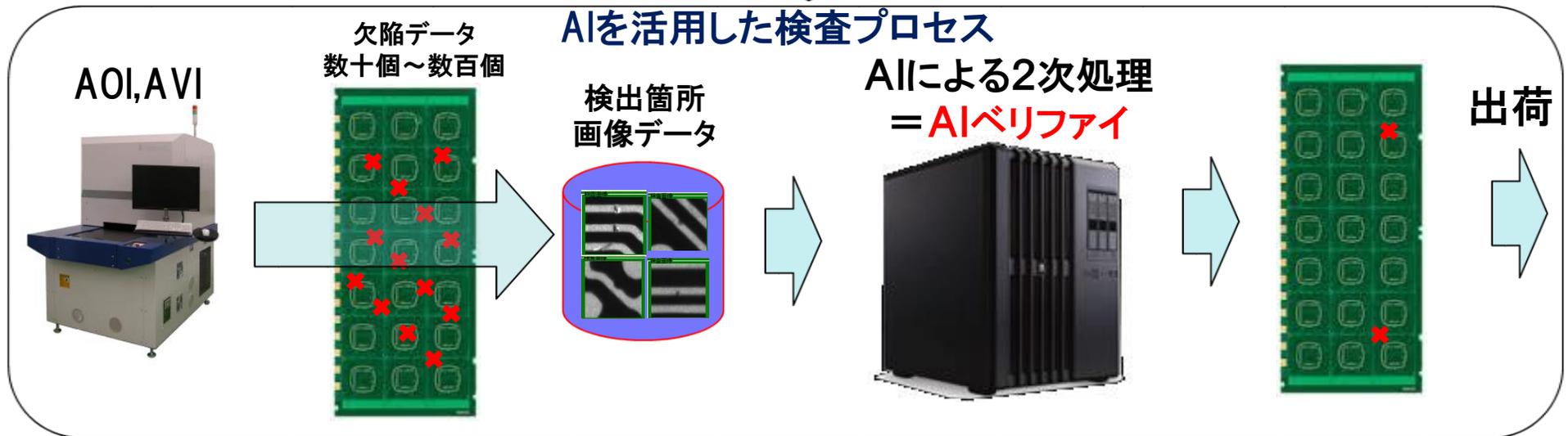
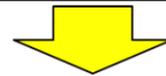
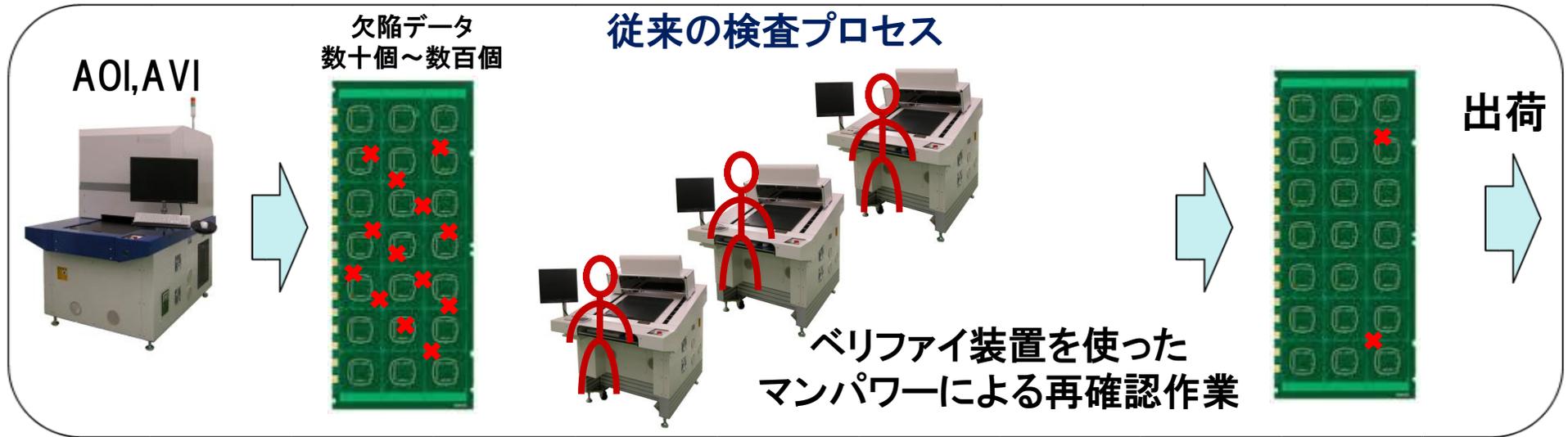


## ロールtoロールAVI

液晶テレビ  
有機ELテレビ  
PCモニター



# AI取り組み : AI(人工知能)の活用で出来ること



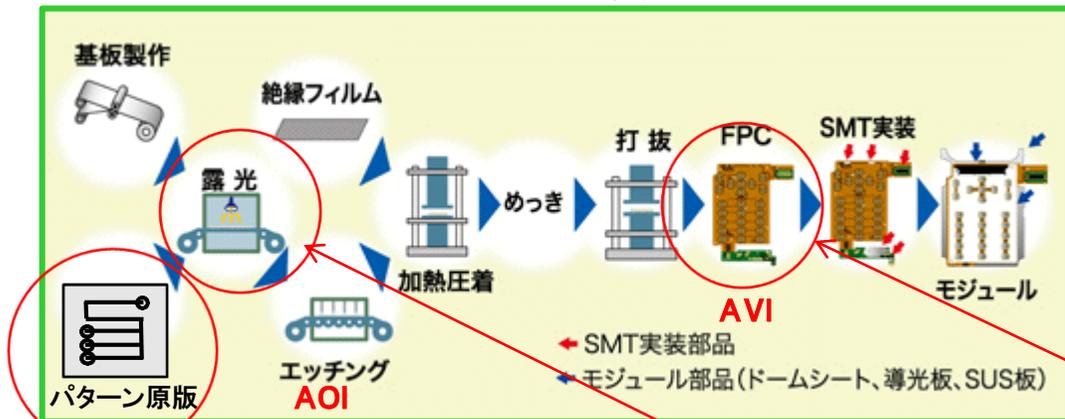
# 精密基板製造装置関連事業

First EIE SA



レーザーフォトプロッター RP700

## プリント基板の製造工程



**市場規模(世界)**  
 フォトプロッター : 20億円~40億円  
 ダイレクトイメージング : 200億円~300億円

**フォトプロッター**  
 (基板のフィルム原版を印刷する装置)

**ダイレクトイメージング**  
 (基板にパターンを直接描画する装置)

**インクジェットプリンター**  
 (基板上に回路記号等を印刷する装置)

**RP500**



**RP750**



**EDI500**



**CP562**



**主力製品:世界市場で750台以上の実績**

**新製品:目標ニッチトップ**

**多品種生産対応機**

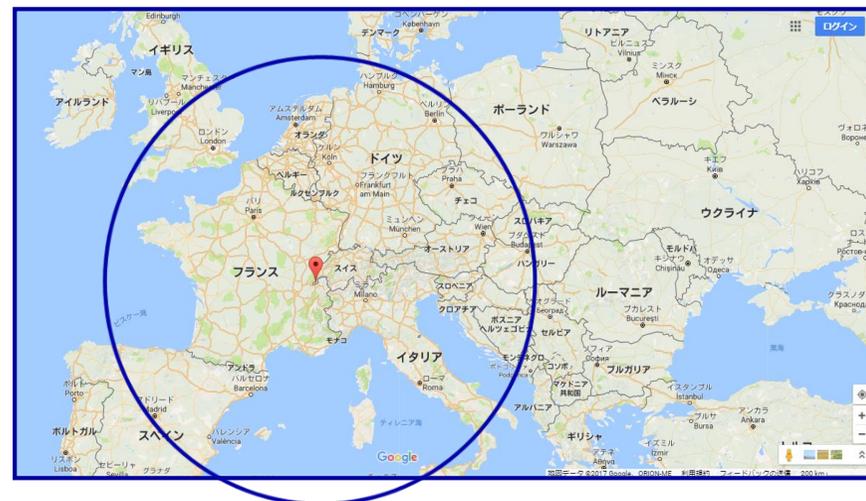
## First EIE社の本社工場移転→コストダウン&品質向上&キャパUP



Nyonの新工場(2017年9月に移転)  
ニヨン(Nyon)

インスペックのヨーロッパ市場  
に於けるサービス拠点として運用

半径約1,000Km(飛行機で約1.5時間)



# デジタルパソロジー関連機器事業

## パスイメージング株式会社



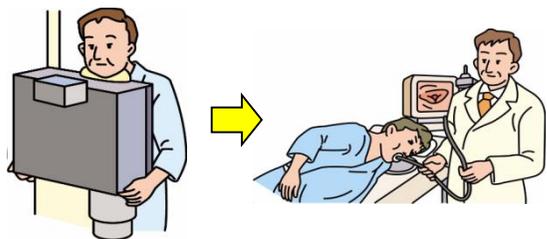
Whole Slide Imaging UH-50L

今まで

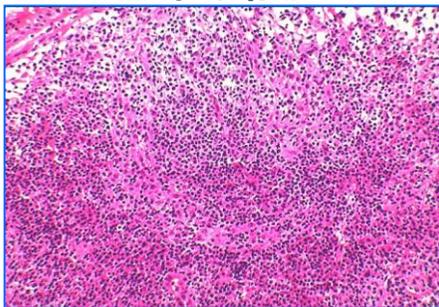


これから

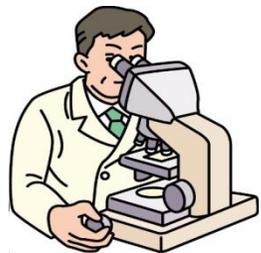
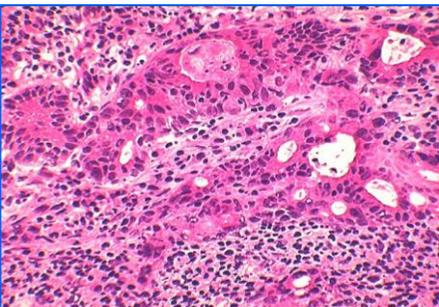
## 従来の顕微鏡による検査



正常な細胞



がん化した細胞



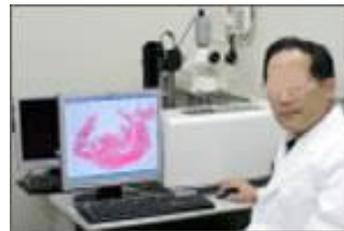
- ・病理医が不足
- ・一人しか観察できない。
- ・画像を保存出来ない。

## WSIで撮像

デジタル画像化



デジタル画像で検査



- ◎遠隔地で検査できる。
- ◎複数の病理医が同時に検査できる。
- ◎診断した組織の画像を保存出来る。

- ◆ 3月に厚労省から、下記の通りデジタル画像による病理診断が保険請求について公示された。

**「デジタル病理画像に基づく病理診断については、デジタル病理画像の作成、観察及び送受信を行うにつき十分な装置・機器を用いた上で観察及び診断を行った場合に算定できる。」**

～厚生労働省保険局医療課「平成30年度診療報酬改定の概要」より～

- ◆ インスペックは、2020年4月期に当初計画にキャッチアップの見込み。  
主に子会社の状況の変化による修正。

(単位:千円)

		第31期 2019年4月期		第32期 2020年4月期	
		前回数値	修正後	前回数値	修正後
精密基板検査装置関連事業 (インスペック)	フラットベッド型検査装置	1,100,000	600,000	1,150,000	900,000
	ロールtoロール型検査装置	790,000	1,300,000	1,230,000	1,700,000
	インライン検査装置	100,000	50,000	200,000	50,000
	自動機、その他	110,000	50,000	120,000	50,000
合計		2,100,000	2,000,000	2,700,000	2,700,000
精密基板製造装置事業 (First EIE SA)		936,000	700,000	1,000,000	700,000
デジタルパソロジー関連機器事業 (パスイメージング)		200,000	—	300,000	—
連結売上高計		3,236,000	2,700,000	4,000,000	3,400,000
営業利益		400,000	236,000	650,000	407,000
経常利益		350,000	168,000	600,000	375,000
親会社株主に帰属する当期純利益		290,000	120,000	420,000	279,000

**ご清聴ありがとうございました。**

**インスペックグループは、世界におけるオンリーワン企業を目指しチャレンジを続けてまいります。**

## 本資料のお取り扱い上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及又は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。